

会宝産業株式会社 ケニア共和国での案件化調査が終了

会宝産業株式会社(石川県金沢市)がケニア共和国で実施していた「環境配慮型自動車リサイクルシステムの案件化調査」が終了しました! 使用済み廃棄自動車に起因する環境問題を抱えるケニアにおいて、同社の強みである環境配慮型自動車解体技術・システムの展開可能性を調査しました。昨年10月には、現地調査で得たパートナーを本社に招いて、日本の自動車リサイクルの歴史や法制度、ケニアでの応用について協議しました。プロジェクトを担当された鈴木大詩課長からは「当社の53年間の技術ノウハウを活かし、世界の自動車の『あとしまつ』に取り組んでいきます!」というコメントを頂きました。会宝産業さんのアフリカでの活躍を期待しています!



本邦研修での集合写真



ケニアでの中古車解体ワークショップ

WELCOME TO HOKURIKU

研修員の来日が再開されました!

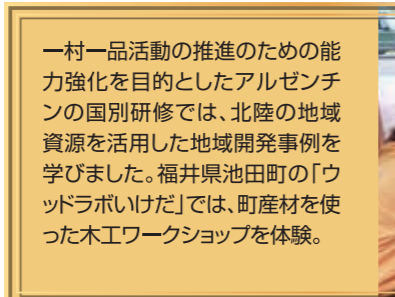
新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、遠隔研修に切り替えて実施してきた研修員受入事業ですが、今年度ようやく北陸に研修員の皆さんを迎えて実施できるようになりました。対面で言葉を交わし、時間を共有し、北陸の文化や生活を直に体験する中で学びを深める研修員の様子を紹介します!



課題別研修の通称「SATOYAMAコース」には、8か国から研修員が参加しました。揚げ浜式塩田の視察でたっぷり海水が入った桶を運ぶ体験に挑戦する研修員。地域に残る伝統資源の付加価値向上に興味津々でした。腰に気を付けて!



青年研修の初/中等教育(教育行政)コースには大洋州、アフリカ、中央アジアなど世界各国から研修員が参加しました。石川県立盲学校では拡大教科書や点字教科書など様々な種類の教科書に関心を寄せていました。



一村一品活動の推進のための能力強化を目的としたアルゼンチンの国別研修では、北陸の地域資源を活用した地域開発事例を学びました。福井県池田町の「ウッドラボいけだ」では、町産材を使った木工ワークショップを体験。



ホンジュラスの国別研修は斜面災害対策について学ぶコース。氷見市を訪れ、地すべり対策工の視察を行いました。



農産物が農家から消費者に届くまでの過程を学ぶエチオピア研修員。羽咋市では、官民で協働して立ち上げた会社に訪問。直営の「道の駅」で販売する農産品の育成・加工・販売計画や、畑を荒らす猪に「付加価値」をつけて商品化する取り組み等を学びました。



2022年10月1日に設立30周年を迎えたJICA北陸30周年を記念し、様々な記念事業を行いました!

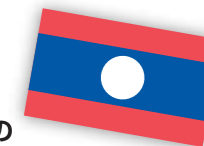
北陸3県で映画上映会を開催



世界最高齢の小学生としてギネス記録を持つキマニ・マルゲの実話をもとにした「おじいさんと草原の小学校」の上映会を行いました。各会場には様々な世代の方が来場され、映画を楽しんでくださいました。映画のインパクトは強く、事後のアンケートには学び続けることの大切さ、教師のあり方、アフリカの歴史、今起こっている紛争など様々なことに思いを馳せる来場者の言葉が並びました。映画の舞台アフリカにちなみ、JICA海外協力隊でアフリカに派遣された経験を持つ方の体験談もお話いただきました。



駐日ラオス大使をお招きして講演会を開催



9月、「ラオスと北陸の新しい関係に向けた講演/交流会」と題して、フォンサムット大使の講演と北陸内外のラオス関係者によるフォーラムを開催。また、大使は北陸各地を回り、関係団体等との友好関係を深められました。



講演会参加者の一人、11月からJICA海外協力隊としてラオスへ赴任する河村美穂さんを激励。



馳浩石川県知事も懇談。大使は、石川県、富山県、南砺市、岐阜県高山市で知事や市長と親交を深めました。



金沢駅ビルで開催中の「赤のラオス展」を訪問。ラオスの手織りの布製品をアピール。



兼六園、金沢城、尾山神社を訪問。ラオスに向けた金沢の観光スポットの発信も期待されます。



石川、富山に加え、岐阜県の高山市や白川郷も訪問。富山県の五箇山と白川郷は、ラオス・ルアンパバーンと同じ年に世界遺産に登録された縁があります。

秋のイベント大盛り上がり!

様々な国の文化に触れ、知ることで、国際交流というだけでなく、SDGsや多文化共生などについて考える工夫がいっぱいのイベントが目白押しでした。JICA北陸も北陸3県各地のイベントに参加しました。そのうちの一つについてご紹介します!



かなざわ国際交流まつり

こちらは2日間にわたり、石川県で開催された「かなざわ国際交流まつり」でのひとコマ。クイズラリーの答えを探すまなざしは真剣そのもの!

福井国際フェスティバル2022 ~世界がワカルと福井がカワル~

福井国際フェスティバル2022は10月23日(日)に福井県国際交流会館で開催されました。世界各国の文化紹介や民族舞踊などのパフォーマンス、世界の料理を味わえる屋台村等、福井で世界を体験できる1日となりました。JICAコーナーではJICA海外協力隊の秋募集に合わせて、協力隊の活動紹介パネルの展示やクイズを実施。また、「世界を旅するエコトリッパー」という講座では協力隊経験者(職種:環境教育)が、派遣国フィジーの環境問題などについて紹介しました。午後に実施した「JICA海外協力隊ひろば」では、ブラジルの日系社会や協力隊活動について参加者が理解を深める様子が見られました。また、会場のメインステージではJICA職員によるSDGsオリジナルソングのライブもあり、盛りだくさんのプログラムとなりました!ご来場いただいた皆様、ありがとうございました!



フィジーの環境事情について紹介



SDGsのオリジナルソングを披露